

川に学ぶ

網走川・常呂川流域連携会議

ニュースレター

第3回「川に学ぶ 網走川・常呂川流域連携会議」を平成25年3月18日に開催しました。

開催概要

本会議は、「川に学ぶ活動」の発展・継続を図るため、流域で活動されている団体の活動紹介や情報共有・意見交換を行い、ネットワーク形成することを目的とした会議で、今回3回目を迎えます。

会議内容

◆北海道「子どもの水辺」全道交流会の紹介

3月16日・17日に開催された、「平成24年度子どもの水辺全道交流会」の会議内容の紹介をみずべねっとオホーツクから行われ、他団体の事例紹介や水辺活動を行う上での課題や、ノウハウなどの情報提供がありました。

◆北見河川事務所からの事例紹介

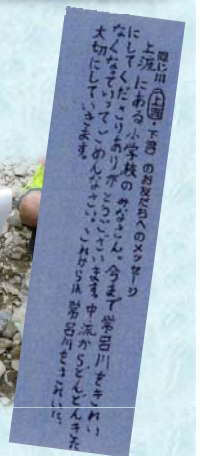
北見河川事務所が実施する流域内小学校の水生昆虫の採取や水質調査について紹介があり、水質に対して上流～下流への線的な繋がりを意識した取組などについて紹介しました。また、マイハザードマップづくりを通じた川の防災学習についての取組を紹介しました。

◆北見市からの事例紹介

自然体験学習として行われた、年3回実施されたこども環境ウォッチング事業の事例紹介がありました。また、北見市民の防災意識を高める取り組みについて、「ミント宅配便」での取組の紹介や、住民参加による協議会や住民説明会などについて、紹介がありました。



会議の開催状況



◆津別町からの事例紹介

津別町で行われている「かわ塾！網走川」や「イカダ作り&下り」、「ラフティング体験in網走川」などの体験学習について紹介がありました。

◆常呂川自然学校の活動紹介

常呂川自然学校の活動紹介では、おけと湖水まつりの水辺のレストランや川下り体験会など、多方面で活動されている羽根石氏ならではの事例紹介がありました。

◆防災学習-DIG(災害図上訓練)の紹介

洪水時を想定したDIG(災害図上訓練)の実施方法について、北見河川事務所から紹介を行いました。これは、「水害がもし起こったら…」という状況に着目し、災害想像力を高めるための取組です



DIG(災害図上訓練)の紹介

意見交換(フリートーク)

会議での意見交換では、以下のような意見がありました(抜粋)。

- 水辺活動に必要なRACやレスキューなどの有資格者(指導者)を育成するため、流域内での講習会開催を期待したい。
- この会議を利用し、流域内で川に学ぶ活動を根付かせたい。
- 防災学習については、各機関連携して実施したい。
- 今後も情報の交流・交換を期待して、会議の開催を継続して欲しい。

【参加団体】

北見市環境課
北見市危機管理課
津別町教育委員会
訓子府町教育委員会
みずべねっとオホーツク
つべつ自然の会
北海道津別高等学校
NPO法人常呂川自然学校